

＼駆け抜けた高校最後の夏／

滝川西高校 野球部 萩原 大輔さん



高校野球北北海道大会を振り返って、率直な感想は？

正直な気持ちを言えば、決勝戦まで勝ち進めるとは思っていましたが、もちろん、負けたことは悔しいですし、みんなと一緒に甲子園へ行きたかったです。でも、それ以上に、仲間とここまで一緒に戦うことができてとても嬉しかったです。試合に負けたとき、甲子園に行けない悔しさ以上に、もうこのメンバーと一緒に試合ができないと思つたら、寂しくて涙が止まりませんでした。こうして引退して改めて本当に野球が大好きだったことを実感しました。

試合中に印象的だった出来事は？

今後の目標を教えてください！

注目するほどの剛速球投手と試合ができたことは、僕たちにとっても一生の思い出です。また、たくさんの方から応援して頂いたことも印象的でした。打席に立ったとき、観客席から聞こえてきた同級生や保護者の皆さんからの声援がとても心強かったです。他にもテレビを見たかったり電話やメールでの応援メッセージも嬉しかったですね。応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました！

いまは、残りの学校生活を楽しみたいですね。これまで野球漬けの毎日で、高校生らしいこと全然してこなかつたので（笑）。

準決勝では、強いと評判の強豪校が相手でした。最初は思わず身構えてしましましたが、監督はじめチームメイト皆で「こんなに強い選手と戦えるなんて、後にも先にもないからこそ、精一杯全力で楽しもう！」と声を掛け合つたんです。そうしたら、肩の荷が下りて、力むことなく楽しんで試合に臨むことができました。プロも

高校卒業後は、就職を考えていまます。これまで消防士の父親の背中をずっと見てきたので、自分も同じような道に進めればいいなと思います。卒業しても、野球は別の形で続けていきたいですね。

社会人になつても野球で培つた精神力と向上心を糧にして、日々感謝の気持ちを忘れない大人になりたいです。

今日も笑顔で
頑張いやあ～よ

地域おこし協力隊 まちの情報発信部門
愛知県出身 野口暢子



今年の夏も、たくさんのイベントにお邪魔してきました。移住3年目にして北海道の暑さに慣れてしまったのか、本州出身なのに暑さにノックアウト寸前でした…(汗)。久々に食べた綿アメ、美味しかったです~。



赤平から通う4名を含め、総勢60名の部員で構成される滝川西高校野球部。2年生の秋からレギュラーとなった萩原さんのポジションは、キャッチャー。ピッチャーの女房役を最後まで勤め上げました。

～地域の魅力発信中！～
赤平市地域おこし協力隊 Facebook

